

- 3 1章 MCGグループがめざす姿
- 4 社長メッセージ
- 9 グループ理念
- 11 価値創造モデル
  - KAITEKI実現に向けたアプローチ
  - 13 Science
  - 15 Value
  - 18 Life

20 2022年度活動報告

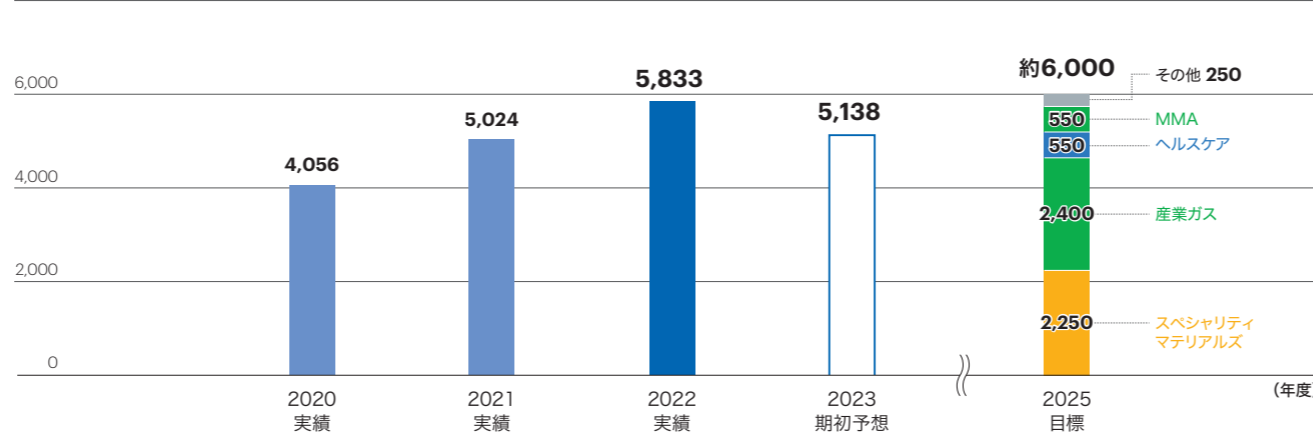
- 22 2章 持続的な成長戦略
- 56 3章 ESGの強化
- 95 4章 財務・非財務情報

## 2022年度活動報告

### MOE 財務実績と目標

#### EBITDA推移

(億円)  
8,000



	2020 実績	2021 実績	2022 実績	2023 期初予想	2025 目標
売上収益(億円)	32,575	39,769	46,345	45,550	約 33,750
コア営業利益(億円)	1,747	2,723	3,256	2,500	約 3,650
EBITDA(億円)	4,056	5,024	5,833	5,138	約 6,000
コア営業利益率(%)	5.4	6.8	7.0	5.5	約11
EBITDAマージン(%)	12.5	12.6	12.6	11.3	約18

#### 厳しい環境下でも増収増益を達成

三菱ケミカルグループの2022年度の事業環境は、経済社会活動の正常化が進む中で、世界経済全体では緩やかな持ち直しの動きが継続しましたが、原燃料価格の上昇やサプライチェーンの混乱、各国のインフレ抑制のための金融引き締めなどにより景気減速のリスクが高まりました。

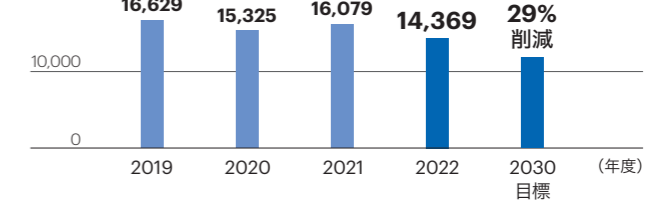
このような状況下、価格転嫁活動を継続し売上収益は前年度比17%増収。コア営業利益は、機能商品におけるディ

スプレイや半導体市場での各製品の調整局面やMMA・石化・炭素製品の需要減退の影響を受けたものの、産業ガスが堅調に推移したことに加え、ヘルスケアにおいて多発性硬化症治療剤「ジレニア」のロイヤリティに係る仲裁判断の結果を受けて収益を認識したことに伴い前年度比20%増収になりました。

### MOS サステナビリティ実績と目標

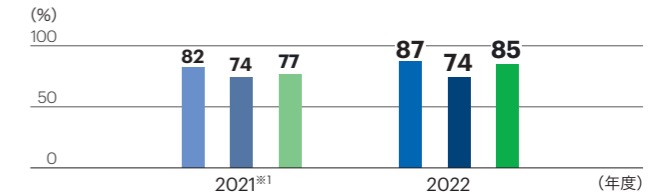
#### GHG排出量推移(Scope 1+Scope 2)

(千t-CO<sub>2</sub>e)  
20,000



### MOT イノベーション実績

#### MOT指標推移



指標名 <sup>※2</sup>	計測対象の例
I指標群	売上高研究開発費率
P指標群	重点R&DテーマやDXの進捗度
O指標群	新製品売上、特許出願件数、特許価値

※1 部分的に更新した2022年度 MOTと比較可能とするため、2022年版レポートでの公表数値から一部変更

※2 イノベーションの過程をインプット(I)、プロセス(P)、アウトプット(O)に区分した指標群から構成

#### サステナビリティやイノベーションの取り組みも進捗

目標として掲げている2050年のカーボンニュートラル実現と2030年度までの削減目標(2019年度比29%削減)に対し、2022年度はGHG排出量を約14%削減しました。

技術力やイノベーションの力を可視化するMOT指標の達成率は、前年度に引き続き、約80%と高い水準を維持しました。技術力やイノベーションの価値をさらに高めていくために、MOTによるマネジメントの方法も議論を継続しています。

- 3 1章 MCGグループがめざす姿
- 4 社長メッセージ
- 9 グループ理念
- 11 価値創造モデル
- KAITEKI実現に向けたアプローチ
- 13 Science
- 15 Value
- 18 Life

20 2022年度活動報告

- 22 2章 持続的な成長戦略
- 56 3章 ESGの強化
- 95 4章 財務・非財務情報

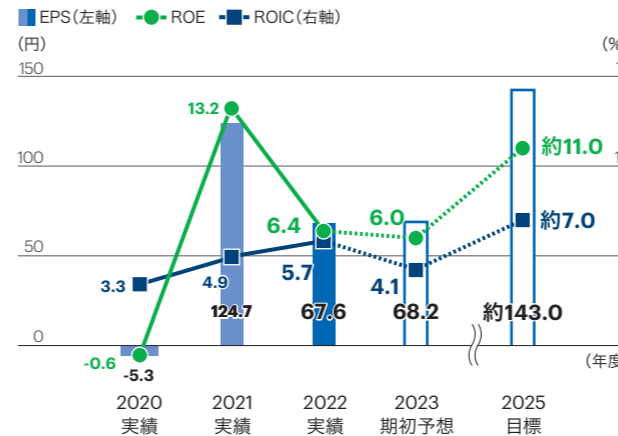
## 2022年度活動報告

### 引き続きROIC向上や、財務体質改善に注力

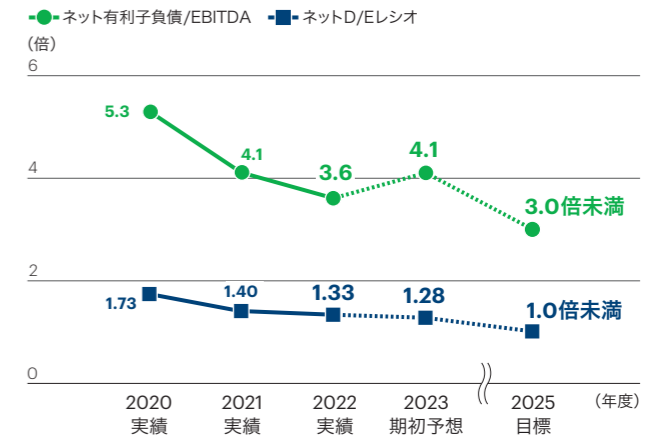
ROICは5.7%となり、またネットD/Eレシオは前年度末の1.40から0.07ポイント改善し1.33倍となりました。

構造改革をはじめとする重要施策の着実な実行とコスト削減などにより財務目標達成をめざすとともに、カーボンニュートラルに向けたロードマップに沿ってこれからも活動していきます。

ROE、ROIC、EPS推移



ネット有利子負債/EBITDA、ネットD/Eレシオ



### 経営方針「Forging the future 未来を拓く」の実行計画と財務目標アップデート

#### 新グループ理念 (Purpose, Slogan, Our Way) を発表

#### 2022年度の主な活動

1Q	2Q	3Q	4Q
<p><b>成長施策</b></p> <p><b>ヘルスケア</b> 米国において「ラジカヴァ ORS」を新発売 筋萎縮性側索硬化症 (ALS) 治療薬であるエダラポン (米国名「ラジカヴァ」) の経口懸濁剤「ラジカヴァ ORS」を米国において発売開始</p> <p><b>機能商品</b> 中国において天然系負極材の能力増強を決定 リチウムイオン電池向け負極材の旺盛な需要に対応するため、中国拠点において生産能力増強を決定 (稼働目標: 2023年度前半、中国生産能力: 2,000トン/年→12,000トン/年)</p> <p><b>産業ガス</b> 南米ペルーにおいてHyCO案件を獲得</p>	<p><b>機能商品</b> エチレン・ビニルアルコール共重合樹脂「ソアノール」の能力増強を決定 食品包装材の世界的な需要拡大に対応するため、英国拠点において生産能力増強を決定 (稼働目標: 2025年秋、英国生産能力: 18,000トン/年→39,000トン/年)</p> <p><b>産業ガス</b> 米国においてHyCO案件を獲得</p>	<p><b>産業ガス</b> 南米、米国に次いで、インドにおいてもHyCO案件を獲得、グローバルで水素製造能力を強化</p> <p><b>構造改革</b> <b>機能商品</b> アクリル繊維事業からの撤退を決定 広島事業所で製造しているアクリル繊維「ボンネル」・「ボンネルM.V.P」の事業から撤退することを決定 (販売終了予定: 2023年中)</p>	<p><b>ヘルスケア</b> Muse細胞を用いた再生医療等製品「CL2020」の開発中止を決定</p> <p><b>ヘルスケア</b> Medicago Inc.の清算を決定 新型コロナウイルス感染症の予防等を適応として開発を進めてきた植物由来のワクチンを含むカナダのMedicago Inc.の全事業から撤退し、Medicago Inc.の清算を進めることを決定</p> <p><b>ケミカルズ</b> 英国におけるMMA関連製品の生産終了 MMA事業の競争力の強化と供給体制の最適化を図るため、英国拠点におけるMMA関連製品の生産を2023年2月に終了</p>

直前に見ていたページに戻る